D01349301H

ESOTERIC

Grandioso D1X

Monoblock D/A Converter

取扱説明書

目　次

安全にお使いいただくために 4

お使いになる前に 6
- 付属品の確認 6
- 設置について 6
- お手入れ 6
- 使用上の注意 7
- 電源の極性について 7

接続 7

各部の名称 (本体) 10

各部の名称 (ディスプレー) 11

MQA (Master Quality Authenticated) 12
- MQA データのデコード再生 12
- MQA-CD をデコード再生するには 12

基本操作 13

設定モード 13
- 設定モード時の表示と内容 14

設定 1 15
- アップコンバート設定 15
- クロック設定 15
- アナログ出力設定 16
- ディマー (DIMMER) 16
- 自動ディスプレー消灯設定 16
- オート・パワー・セーブ設定 16

設定 2 17
- D/A コンバーター動作設定 17
- PCM ゲイン設定 17
- DSD フィルター設定 17
- リモコン動作設定 17
- ファームウェアのバージョン表示 18
- MQA アップデート 18

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する 18
- 対応 OS 18
- ドライバーのインストール 18
- 再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード 19

困ったときは 20
- 出荷時の状態に戻す 21

仕　様 22

寸法図 23
- フット配置図 23

保証とアフターサービス 24

注意

本機のアナログ出力は、選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

最初にアナログ出力設定 (ESLA、XLR2、XLR3、RCA) をしてからご使用ください。

設定方法は、13 ページの「設定モード」、16 ページの「アナログ出力設定」をお読みください。

MQA and the Sound Wave Device are registered trade marks of MQA Limited.© 2016

"DSD" is a registered trademark.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Mac and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Bulk Pet はインターフェイス株式会社の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 **電源プラグをコンセントから抜く**	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (25 ページ記載) に修理をご依頼ください。
 **禁止**	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (25 ページ記載) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 **指示**	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 **禁止**	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 **分解禁止**	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (25 ページに記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く		**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
		旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示		**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
		電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
		この機器は Lch は 23.1kg、Rch は 23.0kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
		この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
		この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止		**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
		電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止		**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (25 ページに記載) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

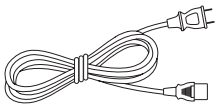
エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (25 ページに記載) にご連絡ください。

電源コード× 2



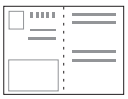
フェルト× 8



HDMI ケーブル× 2



ご愛用者カード× 1



取扱説明書 (本書) × 1

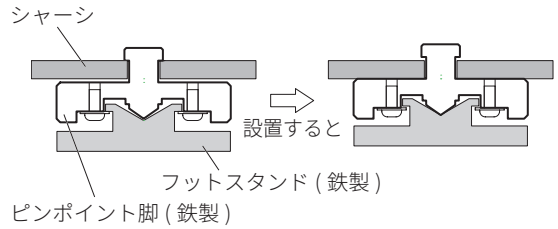
音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。
ピンポイント脚とフットスタンドは、ぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置後にシャーシとピンポイント脚との間にすき間があるときは、ピンポイント脚をネジを締めこむ方向に回すと、すき間がなくなります。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

接続

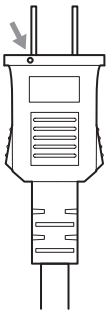
使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。

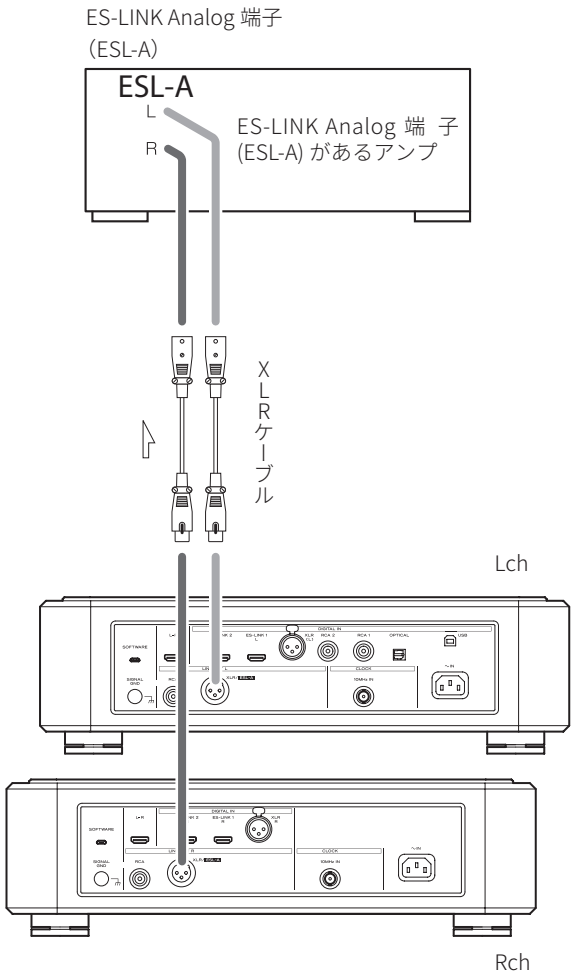
電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分に丸い突起がある方が、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプと本機のアナログ音声出力端子 (XLR/ESL-A) とを XLR ケーブルで接続します。

- 本機のアナログ出力の設定 (AOUT) を ESLA にしてください。
- XLR や RCA でも接続することができます。お好みの音質の接続を選んでご使用ください。

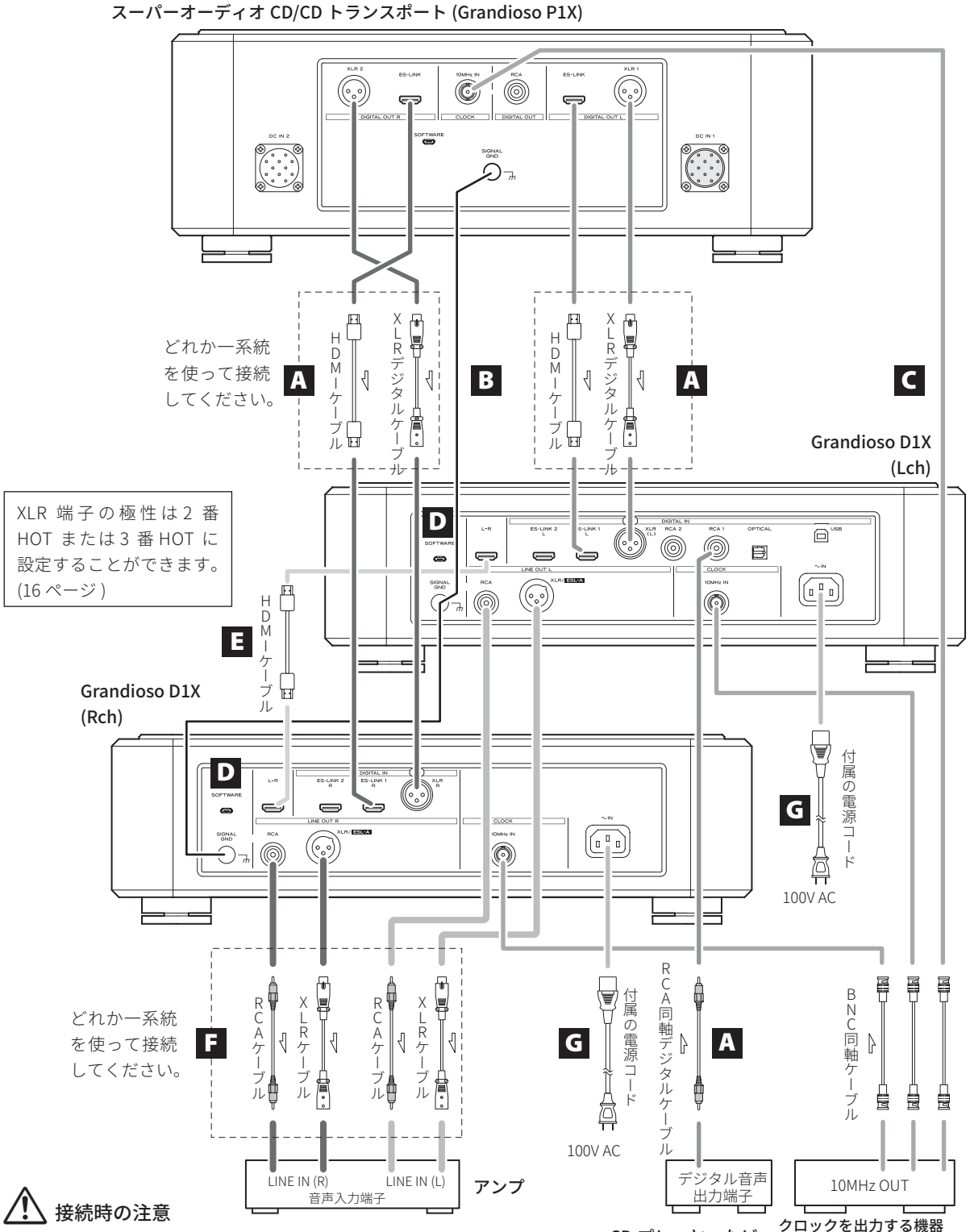
ES-LINK Analog について

ハイスピードで強力な電流供給能力を誇る HCLD バッファー回路の性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能です。

- 接続ケーブルは一般的なバランスケーブル (端子形状 :XLR) ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用できません。

次のページに続きます。 ➡

接　続 (続き)



接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

本製品は Lch と Rch のユニットがあります。この 2 台を使用して、ステレオ再生を行います。

A デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN)

デジタル音声を入力します。
Grandioso P1X などのデジタル機器のデジタル出力端子と接続してください。

ES-LINK : HDMI ケーブル

- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLR デジタルケーブル
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル

- Grandioso P1X との接続は ES-LINK 接続を推奨します。
- XLR は Dual AES 対応です。お手持ちのデジタルソース機器が Dual AES に対応している場合は、2 本のケーブルを使って Lch、Rch の XLR 端子とソース機器のデジタル出力 (L) 端子、(R) 端子をそれぞれ接続してください。

> XLR 端子の接続は、2 種類の方法があります。
> **SINGLE 接続 (AES/EBU フォーマット)**
> L と R の音声信号を 1 本の信号線で送ります。
> **DUAL 接続 (DUAL AES フォーマット)**
> L と R の音声信号をそれぞれ別の信号線で送ります。

B アース端子 (SIGNAL GND)

アース端子を使って、他の接続機器とアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

C 10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN)

10MHz の同期信号 (クロック) を入力します。(10 ページ)

クロック同期させる場合は、クロックを出力する機器のクロック出力端子と本機のクロック入力端子を接続して、クロック設定 (CLK ＞) を「SYNC」に設定してください。(15 ページ)

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

- BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50 Ω または 75 Ω のものがお使いいただけます。

D メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

E Lch-Rch 通信用端子 (L-R)

Lch と Rch のユニットのこの端子同士を付属の HDMI ケーブルで接続してください。
Lch の Grandioso D1X から Rch の Grandioso D1X に各種設定や右チャンネルのオーディオデータが伝送されます。

注意

この端子同士を接続しない場合は、Lch と Rch のユニットに同じ設定をしてください。

F アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR/ESL-A: XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

本製品 Lch、Rch のアナログ音声出力端子とアンプの L 端子、R 端子をそれぞれ接続してください。

- アナログ出力設定は、ESLA、XLR2、XLR3 または RCA から選択してください。(16 ページ)

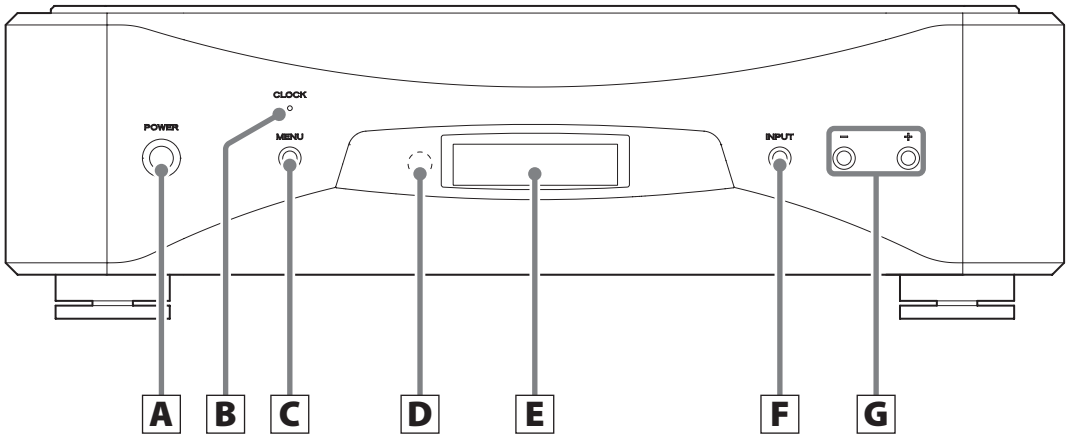
G AC インレット (～ IN)

AC インレット (～ IN) に付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

各部の名称 (本体)



A 電源ボタン (POWER)

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く点灯します。
電源がオフのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

B クロックインジケーター (CLOCK)

クロック同期の状態を表示します。
クロック同期中にインジケーターが点滅し、同期すると点灯に変わります。

C メニューボタン (MENU)

設定モードに入ります。(13 ページ)

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

- 本機にリモコンは付属していません。
- 本機は Grandioso P1X などのエソテリック製品付属リモコンで操作することができます。(17 ページ)

E ディスプレー

選択されている入力端子の情報などを表示します。

F 入力切換ボタン (INPUT)

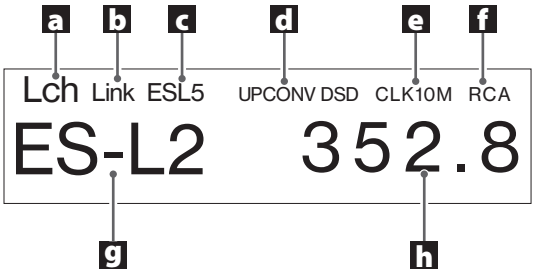
デジタル入力を切り換えます。デジタルソース機器が接続されている端子を選んでください。デジタル信号が入力されていないときは、ディスプレーに Fs 周波数が表示されません。

G 選択項目変更ボタン (– /+)

設定モード時のパラメーター変更に使用します。

- 本機で音量の変更は出来ません。

各部の名称 (ディスプレー)



a L/R 本体識別表示

本機が再生するチャンネルを表示します。

Lch：左チャンネル
Rch：右チャンネル

b Lch-Rch 通信表示

Lch と Rch のユニットの Lch-Rch 通信用端子同士が接続されているときに表示されます。

c 通信フォーマット

d アップコンバート表示

e クロックモード表示

無表示：
CLK>OFF 設定時
CLK10M：
CLK>SYNC 設定時
INT22M / INT24M：
USB 入力で内蔵クロックを使用している場合に表示

f アナログ出力表示

g 入力表示

h Fs 周波数表示

入力信号のサンプリング周波数を表示します。

- 入力ソースが ES-L1 または ES-L2 のときは、入力信号のフォーマット (PCM または DSD) を表示します。

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。
詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。
Grandioso D1X は MQA に対応しており、MQA オーディオ・ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。

「MQA」または「MQA Studio」の表示は、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードし、再生していることを示し、音声が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。「MQA Studio」は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。

MQA データのデコード再生

XLR の DUAL 接続を除く各デジタル音声入力で、MQA データをデコードして再生することができます。
MQA データを認識するためには、Lch と Rch のステレオデータが必要となります。

MQA-CD をデコード再生するには

Grandioso P1X との組み合わせの場合

以下の接続と設定で再生が可能です。

ES-LINK ステレオモード接続
Grandioso P1X の出力端子 / フォーマット設定を ESLINK に、ES-LINK 設定を ST(ステレオモード) にしてください。
停止中に Grandioso P1X の一時停止ボタンを 2 秒以上押し続けても、ES-LINK のモードを ST に切り換えることができます。

XLR シングル接続
Grandioso P1X の出力端子 / フォーマット設定を XLR_1 にしてください。

RCA 接続
Grandioso P1X の出力端子 / フォーマット設定を RCA_1 にしてください。

Grandioso P1X 以外のエソテリック トランスポートとの組み合わせの場合

ES-LINK 接続では MQA-CD をデコード再生できません。

以下の接続で再生が可能です。

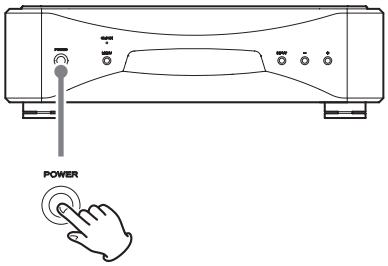
- XLR シングル接続
- RCA 接続

お手持ちのトランスポートの取扱説明書に従い、トランスポート側の出力設定をしてください。

基本操作

- Lch と Rch の Lch-Rch 通信用端子 (L-R) を付属の HDMI ケーブルで接続してあれば、Lch の設定は Rch に自動で転送されます。

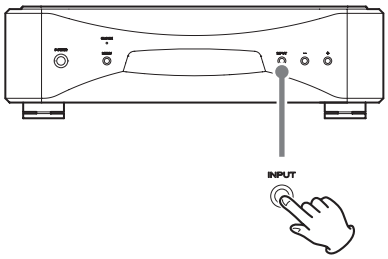
1 電源ボタン (POWER) を押して電源をオンにする。



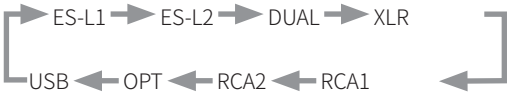
電源ボタン (POWER) の周囲が青く点灯するまで、押してください。

- Lch と Rch 両方の電源をオンにしてください。

2 入力切換ボタン (INPUT) を押してソースを選ぶ。



入力切換ボタン (INPUT) を押すたびに次のように入力が切り換わり、ディスプレーに表示されます。



入力を選んだら、ソースを再生してください。

デジタル信号を感知できない場合、ディスプレーに Fs 周波数が表示されません。接続を確認してから接続した機器の電源をオンにしてください。

- 使い終わったら、電源ボタン (POWER) を押して電源をオフにしてください。

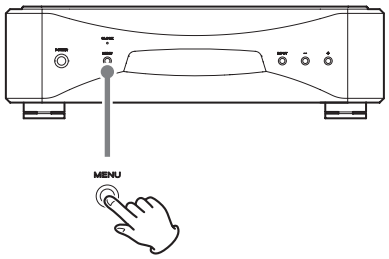
設定モード

本機の設定は、設定 1 と設定 2 の二つのグループに分かれています。
メニューボタン (MENU) の押し方によって設定 1 と設定 2 の表示を切り換えます。

1 メニューボタン (MENU) を押して、設定項目を表示する。

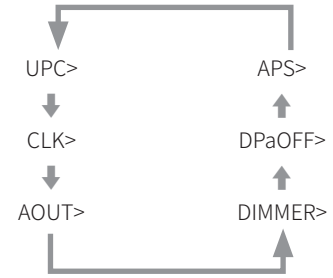
メニューボタン (MENU) を短く押すと、設定 1 が表示され、3 秒以上押すと設定 2 が表示されます。

2 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、設定する項目を選ぶ。



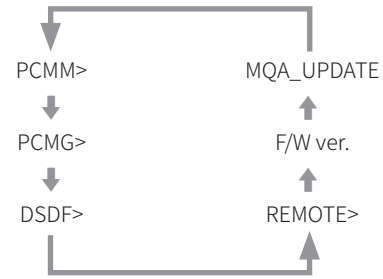
メニューボタン (MENU) を押すたびに、ディスプレーの表示が変わります。

設定 1



- 設定 1 表示中は、ディスプレーの左上に MENU インジケーターを表示します。

設定 2

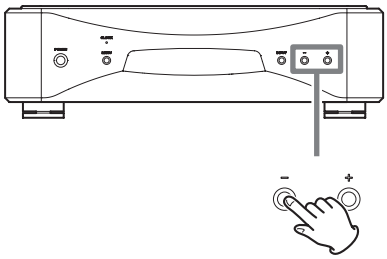


- 設定 2 表示中は、ディスプレーの左上に MENU インジケーターを点滅表示します。

次のページに続きます。 ➡

設定モード (続き)

3 選択項目変更ボタン (– /+) を使って、設定を変更する。



各設定内容については、15 ～ 17 ページをお読みください。

入力切換ボタン (INPUT) を押すか、10 秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。ただし、MQA アップデートは 10 秒以上放置しても解除されません。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

設定モード時の表示と内容

設定 1

UPC> ＊＊＊

アップコンバート設定。
アップコンバートするサンプリング周波数を切り換えます。(15 ページ)

CLK> ＊＊＊

クロック設定。
外部クロックによる同期設定を行います。(15 ページ)

AOUT> ＊＊＊

アナログ出力設定。
使用するアナログ出力端子を設定します。(16 ページ)

DIMMER> ＊＊＊

ディマー設定。
本体ディスプレーの明るさを調節できます。(16 ページ)

DPaOFF> ＊＊＊

自動ディスプレー消灯設定。(16 ページ)

APS> ＊＊＊

オート・パワー・セーブ設定。(16 ページ)

設定 2

PCMM> ＊＊＊

D/A コンバーターの動作モード設定。(17 ページ)

PCMG> ＊＊＊

PCM 信号再生時のゲイン設定。(17 ページ)

DSDF> ＊＊＊

DSD 再生時のデジタルフィルター設定。(17 ページ)

REMOTE> ＊＊＊

リモコン操作設定。(17 ページ)

F/W ver.

ファームウェアバージョン表示。(18 ページ)

MQA_UPDATE

MQA 信号処理プログラムのアップデートを行います。(18 ページ)

設定 1

アップコンバート設定

UPC> ＊＊＊

CD などの PCM 信号が入力されているときに、この設定を切り換えることによって、入力信号をアップコンバートしたり、DSD 信号に変換することができます。
各入力ごとに設定が可能です。
出荷時は「ORG」に設定されています。

- DSD 信号はアップコンバートできません。

ORG

アップコンバートを行いません。

- 入力信号をアップコンバートしないで、そのまま D/A コンバーター部に伝送します。

2Fs

88.2kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

4Fs

176.4kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

8Fs

352.8kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

16Fs

705.6kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

DSD

DSD 信号に変換して、D/A 変換を行います。

クロック設定

CLK> ＊＊＊

外部クロックによる同期設定をします。
出荷時は「OFF」に設定されています。

- USB 入力以外で、クロック同期機能のないソース機器と接続するときは、OFF を設定してください。

OFF

クロック同期を行いません。入力デジタル信号のクロックで動作します。

USB 入力時は内蔵発振器を使用します。
クロックインジケーター (CLOCK) が緑色に点灯します。

SYNC

本機の 10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) にクロックジェネレーターより、10MHz のクロックを入力し、本機を同期させるモードです。

クロックインジケーター (CLOCK) が青く点灯します。同期中または同期できない状態の場合は、クロックインジケーター (CLOCK) が点滅します。

- ソース機器もクロックジェネレーターに接続し、クロック同期している必要があります。
- 入力可能なクロックの周波数は、10MHz です。入力オーディオ信号と入力クロック信号は同期している必要があります。
- 音楽再生中にクロックジェネレーターの電源をオフにしたり、10MHz クロックを供給している BNC 同軸ケーブルの接続をはずして、クロックの供給を止めると、スピーカーから大きなノイズが発生することがありますのでご注意ください。

設定 1(続き)

アナログ出力設定

AOUT> ＊＊＊

使用するアナログ出力端子を設定します。
出荷時は「XLR2」に設定されています。

ESLA
XLR 端子から ES-LINK Analog (ESL-A) でアナログオーディオ信号を出力します。

- 接続には一般的な XLR ケーブルを使用しますが、独自伝送方式のため、接続は対応する機器のみとなります。
- ES-LINK Analog (ESL-A) については 7 ページを参照下さい。

XLR2
XLR 端子から 2 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

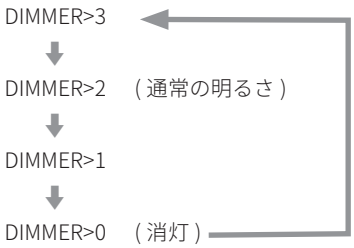
XLR3
XLR 端子から 3 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

RCA
RCA 端子からアナログオーディオ信号を出力します。

ディマー (DIMMER)

DIMMER> ＊＊＊

本体のディスプレーの明るさを調節できます。
出荷時は「2」に設定されています。



- DIMMER>1 または DIMMER>0 が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常の明るさ (DIMMER>2) で表示されます。

自動ディスプレー消灯設定

DPaOFF> ＊＊＊

ディスプレー表示を自動的に消灯することができます。
出荷時は、「ON」に設定されています。

- 有機 EL 表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動消灯設定を ON にすることをお勧めします。

ON
10 分間操作の無い状態が続き、表示に変化がないと、ディスプレー表示が自動的に消灯します。

OFF
ディスプレー表示は自動的に消灯しませんが、操作から 10 分経過すると、表示の明るさを暗くします。

オート・パワー・セーブ設定

APS> ＊＊＊

選択した入力ソースから入力がない状態が設定時間続くと、電源を自動的にオフにします。
出荷時は、「30m」に設定されています。

- 選択されていない入力ソースの状態は、オート・パワー・セーブの動作に影響しません。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

OFF
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

設定 2

D/A コンバーター動作設定

PCMM> ＊＊＊

PCM 再生時の D/A コンバーターの動作モードを M1、M2、M3 の 3 種類から設定できます。
ΔΣモジュレータの動作周波数やハードウェアの誤差を吸収するためのランダマイズアルゴリズムを変更しています。
M1 が ESOTERIC のリファレンスのモードです。
ΔΣモジュレーターについては、M1、M2、M3 の順に動作周波数が低くなります。
ランダマイズアルゴリズムについては、M1、M2、M3 の順序に入れ換えの度合いが高くなります。
お好みの音色の設定を選択してください。
出荷時は「M1」に設定されています。

PCM ゲイン設定

PCMG> ＊＊＊

PCM 信号再生時のゲインを設定します。PCM 信号再生時と DSD 信号再生時の音量差を少なくするとこができます。必要に応じて設定してください。
出荷時は「0dB」に設定されています。

0dB
ゲイン調整しません。

-3dB
PCM 信号再生時のゲインを 3dB 下げます。

-6dB
PCM 信号再生時のゲインを 6dB 下げます。

DSD フィルター設定

DSDF> ＊＊＊

DSD 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

F1、F2、F3
デジタルフィルターを使用します。F1 から F3 は、周波数特性の異なるデジタルフィルターで、F1、F2、F3 とカットオフ周波数が下がります。

リモコン動作設定

REMOTE> ＊＊＊

Grandioso P1X などに付属のエソテリック用リモコン信号の受信設定をします。
出荷時は「OFF」に設定されています。

- 設定に関わらず、リモコンのディマーボタン (DIMMER) は動作します。
- エソテリックのアンプを使用している場合は、OFF に設定してください。ON に設定するとアンプも同時に動作してしまいます。

OFF
リモコンのボタンで動作しなくなります。

ON
リモコンのアンプコントロール用ボタンで動作します。
リモコンと本体ボタンの対応は以下の表を参照してください。

リモコン	本体
SETUP	MENU
INPUT	INPUT
VOLUME ＋−	選択項目変更ボタン ＋−

設定 2 (つづき)

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン (+) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

I/F ****

I/F ファームウエア

U *****

USB ファームウェア

M *****

MQA ファームウェア

MQA アップデート

MQA_UPDATE

MQA 信号処理プログラムのアップデートを行うときに使用します。

詳しいアップデート方法は、アップデートプログラムに添付されている説明書を参照ください。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

対応 OS

USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかです。
下記以外の OS での動作保証はいたしません。
(2025 年 1 月現在)

Mac の場合

macOS Sierra(10.12) 以降

Windows の場合

Windows 10 (32bit/64bit) 以降

ドライバーのインストール

Mac の場合

OS 標準のドライバーで動作するので、専用ドライバーのインストールは必要ありません。
ただし、Bulk Pet を使用する場合は、専用ドライバーをインストールする必要があります。

Windows の場合

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、専用ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。

専用ドライバーをパソコンにインストールする

下記 URL より専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
インストール手順の詳細についても下記 URL をご覧ください。

https://www.esoteric.jp/jp/product/d1x/download

ご注意

パソコンとの USB 接続の前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。

パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

転送モードについて

本機は、Isochronous または Bulk Pet で接続します。
伝送可能サンプリング周波数は 44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384/705.6/768kHz です。DSD の場合は、2.8/5.6/11.2/22.5MHz です。

- DSD 22.5MHz は、DSD Native 再生にのみ対応しており、DoP（DSD Audio over PCM Frames）再生には対応していません。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「ESOTERIC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。

本機のデータ転送では、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理するので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード

パソコンを使った音楽ファイルの再生には、ESOTERIC HR Audio Player をご利用いただけます。
下記 URL からダウンロードしてご利用ください（無償）。

https://www.esoteric.jp/jp/product/hr_audio_player/download

ESOTERIC HR Audio Player は、Windows および Mac 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

ESOTERIC HR Audio Player の設定について

ESOTERIC HR Audio Player で、DSD 22.5MHz を再生する場合、[Configure] ウインドウの [Decode mode] の項目で、[DSD Native] を選択してください。

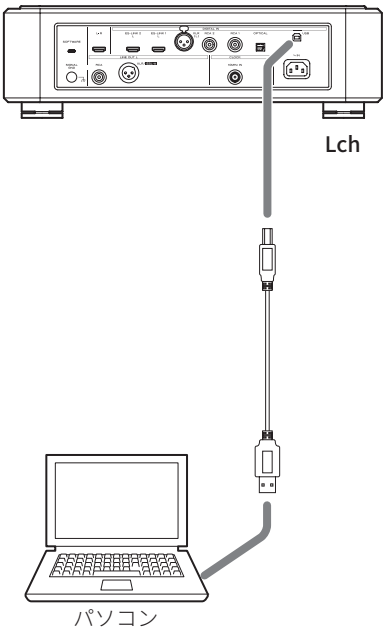
DSD 22.5MHz を再生しない場合は、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

詳しくは、ESOTERIC HR Audio Player 取扱説明書の「DSD 再生方式の選択」をご覧ください。

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。

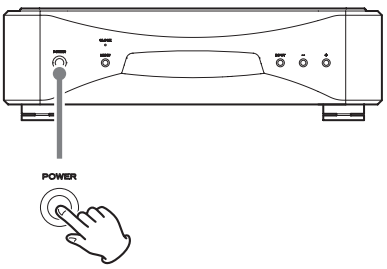
- 本機の USB 端子は、B 端子です。



2 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 電源ボタン (POWER) を押して本機の電源を入れる。

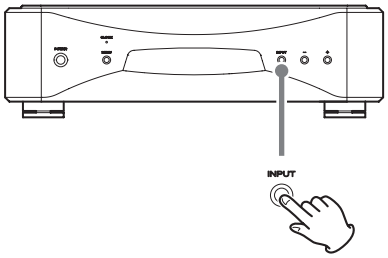


- Lch と Rch 両方の電源をオンにしてください。

次のページに続きます。 ➡

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する (続き)

4 入力切換ボタン (INPUT) をくり返し押して「USB」を選ぶ。



5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機から USB 経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  USB ケーブルを抜く
  本機の電源をオフにする
  入力を切り換える
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。 操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (25 ページに記載) にご連絡ください。

電源が入らない。

➡ 電源コードが、本体背面のインレットとコンセントに接続されているか確認してください。

➡ 電源コードが接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。

電源が自動的にオフになる。

➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がオフになっています。
本体の電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。
必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(16 ページ)

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

➡ デジタルソース機器、アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(8 ページ)

➡ 接続した端子に合わせて、入力を切り換えてください。(13 ページ)

➡ アンプとの接続に合わせて、本機のアナログ出力の設定 (AOUT) を行ってください。(16 ページ)

➡ アンプなどの音量を調節してください。

ディスプレーに Fs 周波数が表示されない。

➡ 選択されている入力端子に接続されている機器の電源を入れてください。

➡ 選択されている入力端子が正しく接続されているか確認してください。

Fs 周波数表示部に – – – が表示される。

➡ 入力された信号に問題があります。
PCM または DSD 以外の信号は入力しないでください。
デジタル機器との接続を確認してください。
Dolby Digital、DTS、AAC などの信号はデコードできません。再生機側で PCM に変換して出力してください。

「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る。

➡ クロック同期モード時にスピーカーから「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る場合は、接続している機器がクロック同期モードになっていない可能性があります。クロック端子の接続状態や、接続している機器のクロック設定を確認してください。

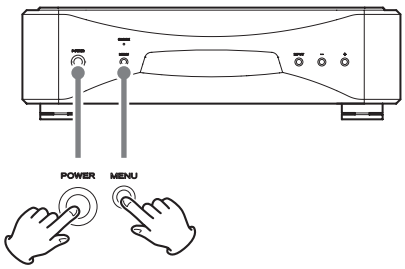
クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない。

➡ クロック同期を使用しない時は、クロック設定 (CLK) で「OFF」を選んでください。(15 ページ)

➡ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロック端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。本機は、10MHz のクロックのみに対応します。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

出荷時の状態に戻す



設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

- L-R 接続されている場合は、Lch で以下の操作をすると、Rch も同じ設定になります。
  L-R 接続していない場合は、個別に以下の操作を行ってください。

1 電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、電源ボタン (POWER) を押して電源をオフにしてから 30 秒以上待ってください。

2 メニューボタン (MENU) を押しながら電源ボタン (POWER) を押す。

ディスプレーに「Setup CLR」(設定消去) が表示されたらメニューボタン (MENU) から指を離してください。

仕　様

アナログ音声出力

XLR/ESL-A ..... Lch、Rch 各 1（モノラル）
RCA ..... Lch、Rch 各 1（モノラル）
出力インピーダンス
　XLR ..... 100 Ω
　RCA ..... 47 Ω
最大出力レベル
　(1kHz、PCM フルスケール信号入力、10k Ω負荷時)
　XLR 5.0Vrms
　RCA 2.5Vrms
周波数特性（192kHz PCM 信号入力時）
　5Hz ～ 30kHz（–3dB）
S/N 比 113dB
歪率 0.0007%
　（1kHz、D/A コンバーター動作モード M3 設定時）

デジタル音声入力

ES-LINK ..... 2 系統
　入力信号形式
　　リニア PCM (ES-LINK5 フォーマット)
　　44.1 ～ 768kHz、48bit
　　DSD (ES-LINK5 フォーマット)
　　2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz
XLR ..... 1 系統
　入力レベル 5.0Vp-p
　入力インピーダンス ..... 110 Ω
　入力信号形式 (DUAL 接続時)
　　リニア PCM (DUAL AES フォーマット)
　　88.2 ～ 384kHz、16 ～ 24bit
　　リニア PCM (ES-LINK3 フォーマット)
　　88.2 ～ 192kHz、48bit
　　DSD 2.8MHz
　　(ES-LINK1、ES-LINK2、DoP フォーマット)
　入力信号形式 (SINGLE 接続時)
　　リニア PCM (AES/EBU フォーマット)
　　32 ～ 192kHz、16 ～ 24bit
　　DSD 2.8MHz
　　(ES-LINK1、ES-LINK2、DoP フォーマット)
RCA ..... 2 系統
　入力レベル 0.5Vp-p
　入力インピーダンス ..... 75 Ω
　入力信号形式
　　リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
　　32 ～ 192kHz、16 ～ 24bit
　　DSD 2.8MHz
　　(DoP フォーマット)
光デジタル ..... 1 系統
　入力レベル ..... – 24.0 ～ –14.5dBm peak
　入力信号形式
　　リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
　　32 ～ 192kHz、16 ～ 24bit
　　DSD 2.8MHz
　　(DoP フォーマット)
USB (USB2.0 準拠) ..... 1 系統（B 端子）
　入力信号形式
　　リニア PCM ..... 44.1 ～ 768kHz、16 ～ 32bit
　　DSD ..... 2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz

クロック入力

BNC ..... Lch、Rch 各 1
　入力インピーダンス ..... 50 Ω
　入力可能周波数 ..... 10MHz (± 10ppm)
　入力レベル ..... サイン波 0.5 ～ 1.0Vrms

一般

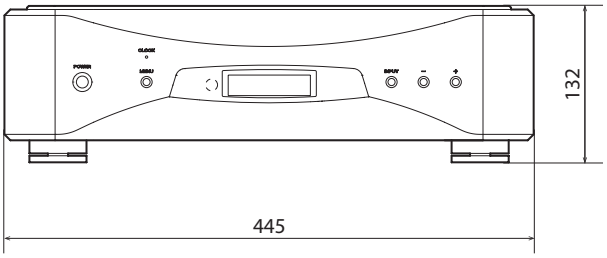
電源 ..... 100V AC 50/60Hz
消費電力 20W
外形寸法 (WxHxD、突起部含む)
　445 × 132 × 448 (mm)
質量
　Lch 23.1kg
　Rch 23.0kg
許容動作温度 ..... ＋ 5°C～＋ 35°C
許容動作湿度 ..... 5%～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度 ..... – 20°C～＋ 55°C

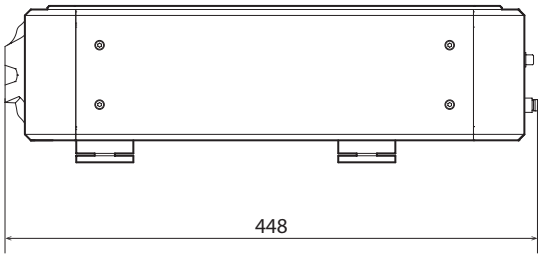
付属品

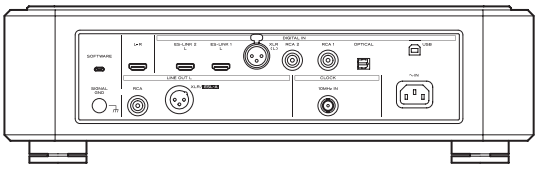
電源コード× 2
HDMI ケーブル× 2
フェルト× 8
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

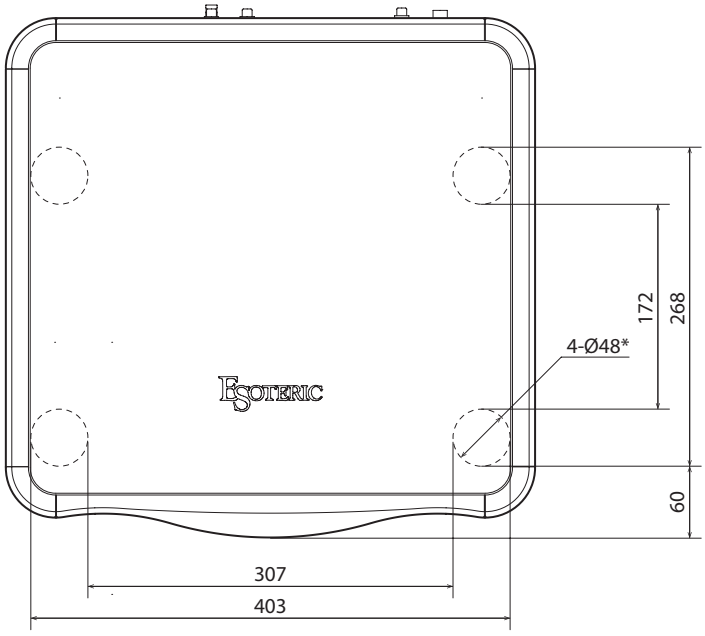
寸法図







フット配置図



単位：mm
* 直径 48mm フット× 4

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、AV お客様相談室もしくはティアック修理センター (25 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

20 ページの「 困ったときは 」に従って調べても、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (25 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：モノラルD/Aコンバーター Grandioso D1X

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ティアック株式会社
〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47

https://www.esoteric.jp/jp/
ESOTERIC ウェブサイト ▶

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



ティアック株式会社

PRINTED IN JAPAN 0125·MA-2725H